

# 「瓦版」



2021. April. 1

在仙台カンボジア王国名誉領事館

NO.6



## シェムリアップ ～そこに住む人々～

シェムリアップは東南アジア最大の湖であり地上でも有数の多様な魚類が生息する内水域でもあるトンレサップ湖の約10キロ北東にあります。市街地には約6万人の住民がいて、街の中心には古い市場があります。経済発展に伴い、高級ホテルやゲストハウス、様々な国の飲食店が建設され、街の風景は毎年のように移り変わっていきます。まさにカンボジア王国最大の観光地となりました。新しい建物はアンコールワット中央祠堂の65mより低層に造る決まりがあり、景観を損ねないように工夫されています。また、フランス植民地時代の面影を残す建築物は今でも市場やホテルなどで使われており、歴史を感じる落ち着いた街を形作っています。



## 住居と暮らし

シェムリアップ中心部から車で20分程離れるとそこにはのどかで美しいカンボジアの田園風景が広がり、木造の高床式住居が見えてきます。

高床式住居を建てる理由はいくつかあります。1つ目は暑さ対策です。電気・水道などインフラが整っていない農村部では、高床式にすることで風が通り抜け、気温が下がらない夜でも快適に眠ることができます。2つ目は、カンボジアでは多くの人々が農畜産業に従事しているため、家畜である牛や水牛などを夜は床下で休ませるのです。3つ目は、雨季の連日続く大雨から浸水を避けるためです。昨年は洪水被害が例年より酷く、多くの家や工場、田畑などが浸水、冠水しました。下水道が整っていない農村部では、このような被害から身を守るために高床式が選ばれています。

一般的な高床式住居を1棟建設するにはおおよそ80万円～100万円がかかります。現在は木材の価格が高騰しているため農村部でも価格の安いコンクリートの家を良く見るようになりました。

寄稿者：内田隆太(静岡県三島市出身)

Share the Wind(日本)

ORGANIZATION FOR MAKING CHILDREN'S FUTURES (カンボジア)

2014年にシェムリアップ市から60km離れたリエンポン村に小学校を建設。

2015年よりカンボジアに移住し、同村で教育・就学・就労支援を行っている。

現在は農業支援と出身地である三島の「せせらぎ三島ロータリークラブ」支援

のミッションを使い縫製技術習得支援をメインに、隣村の生徒を含めた小学生と中高

生たちに英語学習の指導も郡の教育局・小学校の教師と連携し進めている。またパ

ソコン学習も始動予定だが、パソコンが不足し支援のお願いをしている。





市内の状況とは違い、地方においては感染者があまりない状況でしたが、安全面を考え本部からの要請もあり一時帰国を余儀なくされました。帰国後、沖縄にカンボジア技能実習生が200名ほど暮らしているとのことでしたので、沖縄での交流となりました。その後の活動は、本部から再度の要請で2020年12月19日に任地クラチェへ戻ることができました。日本と比べると、色々な文化の違いもあり、その文化に触れながらサッカーを通して教えられていることに感謝しながら今後もより良いチームにしていければなと思っています。

## サッカー

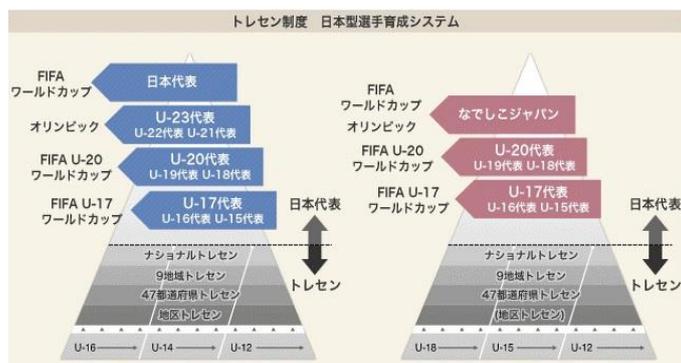
私、宮城晃太と申します。2016年に地元のFC琉球（当時J3）のMFをしていました。

JICA 海外協力隊としてカンボジア王国に赴任をし、育成年代の子どもたちにサッカー指導を行っていました。やっと軌道に乗り始めた時の帰国でした。新型コロナウイルスの流行はプノンペン



## カンボジア代表へ

地元クラチェから未来のカンボジア代表が選出されました。彼は日常の生活の中でもいろいろな出来事を練習の一環として心がけ精進していました。幼い頃、夢に見ていた代表の座を手にしたのです。彼はまた目標へ努力し始めています。



JICA ホームページより

## 日本選手育成制度（ナショナルトレセン）

日本サッカーの強化・発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し良い環境良い指導を与えることを目的に始まった制度です。「個」を高める目標を掲げ「個」のレベルに合ったトレーニング環境を提供することに努めています。その結果今では、トレセンを経験した選手から各年代の日本代表選手の多くが選出されるようになりました。

— — — ○ — — — ○ — — — フルーツ — — — ○ — — — ○ — — —



ドリアン  
durian  
トゥーレン  
ធុរីស



タマリンド  
tamarind  
オンバル  
អំពិល



ミルクフルーツ  
milk fruit  
フラエタックダッコー  
ផ្លែទឹកដោះគោ



パパイヤ  
papaya  
ロホン  
ល្ងីង



ジャックフルーツ  
jack fruit  
クナオ  
ក្នុរ



NyoNyum 提供

# 仙台あれこれ...

創業明治十八年

## 二階堂製麵所

～日本の麵文化を磨き上げ、世界に喜ばれ、誇れるものに～



明治18年宮城県登米市迫川沿いに初代二階堂文左衛門が麵茶屋を創業してから130年余り本物の美味しさと文化を、直にお客様へと届けるブランドを立ち上げたい。そんな思いから2020年2月2日に二階堂製麵所はオープン致しました。

「刻と美でつむぐ、丁寧なものづくり。」

私たちのものづくりは、伝統の中に美を見出し、それをより良いカタチへと昇華させ、そして世に伝えることを大切にしています。職人の情熱と技術の進化の中に生まれる美に、魂を吹き込む。受け継いできたものをさらに研ぎ澄まし、凝縮させていく。

一切妥協せず、ときに複雑で、ときに簡素な表情に目を凝らす。

「麵茶屋文化で日本中の食卓に幸せを届ける存在に。」

一目見て、一度食べた瞬間から感動していただきたい。そして、長い刻を重ねて創られた美味しさで、食卓に幸せを生み出したい。私たちの麵は、日本の食卓の中で育まれてきた歴史そのものです。百三十余年、お客様の声に耳を傾け、研鑽を重ね続けた麵本来の味で、日本中の食卓に幸せがもたらされることを願っています。



### 二階堂製麵所

住所 仙台市青葉区一番町4丁目10-19

HP <https://www.nikaido.co.jp/>

FAX 022-797-3837



### オンラインショップ

HP <https://nikaidoseimenjo.com/>

二階堂製麵所オンラインショップ



## マルニ食品株式会社 ～これまでの135年これから100年先へ～

二階堂製麵所を運営するマルニ食品株式会社は明治18年に初代・二階堂文左衛門が現在の登米市迫町にある迫川のほとりの街道沿いに小さな麵茶屋を開業しました。地元的小麦やそば粉を使い、丹念に作られたうどんやそばは評判になり、たくさんの人でにぎわいました。「ありがとう」「また来るよ」ふれ合いを大切に百三十余年。私たちは文左衛門が目指したものづくりや文化を受け継ぎ、更なる美味しさを追求していきます。これからの百年、またその先の百年へ。マルニの心と技で「笑顔の食卓」をお届けします。

